

宇宙科学研究のためのものづくり 先端工作技術グループ

◆先端工作技術グループとは？

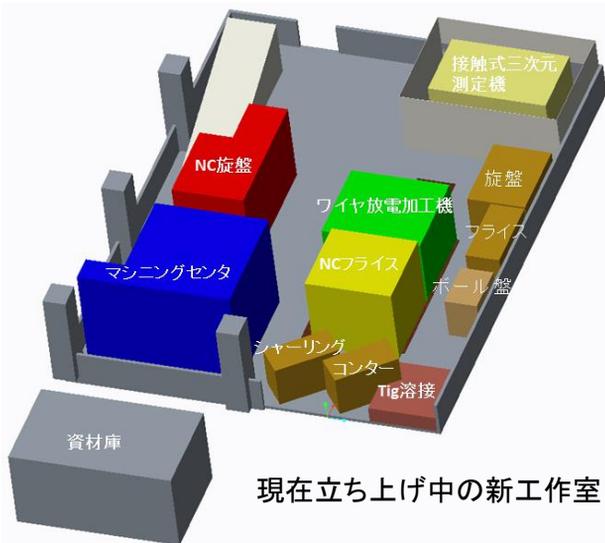
平成28年、宇宙科学研究所 研究・基盤技術グループ
 工作室および宇宙機応用工学研究室 宇宙ナノエレクト
 ロニクスクリーンルームが改組し、先端工作技術グル
 ープとして誕生しました。先端工作技術グループは、10
 年先、20年先の宇宙科学研究を支える、宇宙機器開発の
 ための機械工作、デバイス開発に取り組んでいます。



現在の工作室全景

◆新工作室の設立と我々が目指す先

我々は、現在新工作室を立ち上げ中です。現在ある
 工作室を発展・拡張させる目的は、分野の垣根を超えた
 知識・ノウハウ・技術を更に蓄積・集約し、JAXAの将来
 ミッション候補やそれらに資する研究の試作検討過程
 を支援し、研究開発を支えるためです。また、実験ジ
 グ、BBM(Bread Board Model)、最終的には衛星搭載用
 FM (Flight Model) 品まで作製できる高度な加工、設計
 支援を行っていきたいと思っております。



現在立ち上げ中の新工作室

◆宇宙ナノエレクトロニクスクリーンルーム

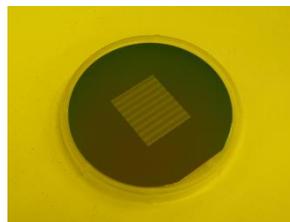
宇宙ナノエレクトロニクスクリーンルームは、JAXA
 宇宙科学研究所が誇る、ISO クラス 1(1立方メートル
 あたり、0.1 μ m、0.2 μ m (μ は0.000001の単位)の
 大きさの塵がそれぞれ 10個、2個以下)の世界最高の
 清浄度を誇るスーパークリーンルームです。このクリ
 ーンルームでは、宇宙用エレクトロニクスデバイスや、
 センサー、フィルター等を研究開発しています。



スーパークリーンルーム全景



専用无尘服



開発中のデバイス



◆岡田グループ長から一言

こんにちは。

このグループは、機械工作技術とデバイス開発
 技術の両面で宇宙研内部での『ものづくり』を
 実践しています。特にインハウスでの研究開発を
 強力に支援していきます。ご期待ください。